

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

新しい時代に対応できるよう、思考力・判断力を身につけ、心豊かな人間性を育む学校をめざす。

- 1 建学の精神「報恩感謝」を大切に、教育理念「人をつくる」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長を実現し人格の形成をめざす。
- 2 すべての教育活動において、きめ細かい指導を行い個性や能力を伸ばし、自立にむけて必要とされる基盤や他者を思いやる心を育成する。
- 3 学校行事や部活動への積極的参加を促し情操面を豊かにし、試行錯誤の中から問題の発見・解決できる力を育成する。

2 中期的目標

【1】 建学の精神・教育理念・教育方針に基づいて教育の実践を行い、私学としての独自性を発揮する。

(1) 私学の独自性

- ア) 建学の精神「報恩感謝」・教育理念「人をつくる」を教職員がよく理解し、それに基づいて教育を行う。
- イ) 入学式・卒業式・全体集会などの取り組みを通じて、建学の精神や教育理念について生徒の理解を深める。
- ウ) 教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に基づき、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。  
※ 教員の評価アンケートにおける「建学の精神の理解」の目標値は4.5以上。(令和2年度 4.3)これを令和3年度までに目標値にする。

(2) 生徒のニーズに対応したクラス編成

- ア) 生徒の多様なニーズに対応し、令和3年度より新たに3年コース(発展文理クラス・発展探究クラス)として新しい教育活動を実践する。現行の英数・英数発展・6年一貫の3つのコース制では2年生・3年生には実践し、それを共有する。また、授業評価によりPDCAサイクルを確立させ教育活動を行う。
- イ) 発展文理・発展探究クラス共に3年後の進路実現はもちろんのこと、探究活動を通して主体的な姿勢を育み自ら夢や目標を達成する意欲を高める。
  - ・ 発展文理クラスは応用的な内容まで掘り下げた授業を展開する一方で、学習のみならず何事にも深く追求する姿勢を育む。
  - ・ 発展探究クラスは週に1単位「探究」の時間を設け、主体的に取り組む活動を通して、目標や夢を持ちその実現に向けて学習意欲や行動力を高める姿勢を育む。
- ウ) 現行2・3年生はコース制を存続し、以下のような教育を継承する。
  - ・ 英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
  - ・ 英数発展コースは、応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応える。
  - ・ 6年一貫コースは、自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。※ 生徒評価アンケートにおける「コース満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度 4.2)は昨年より0.1ポイント上昇したが、これを維持できるよう努力する。

(3) 進路指導

- ア) 生徒が、より良い進路選択ができるよう、進路情報を提供するための進路ガイダンスを行う。
- イ) 個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行う。  
※ 生徒評価アンケートにおける「進路面接等の満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度 4.2)0.2ポイント上昇した。

【2】 学習面において時代の変化に対応した、「主体的な学び(探究)」を実践し、きめ細かい指導を通して生徒自らの夢や進路を実現するため確かな学力を育成するとともに、人権を尊重する学校づくりを行う。

(1) 教科指導

- ア) 各教科はシラバスに沿って指導するが、グループ学習を取り入れ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組む。
- イ) 授業に創意工夫を行い、デジタル機器を使用し、効果的に分かりやすい授業を行う。
- ウ) 基礎学力の向上をめざすため、放課後学習・休暇中の講習や活発な自習室活動を実施する。
- エ) 探究活動(発展探究クラスの「探究」授業含)を通して、生徒自らが課題に向けて考え、協働する力を養い、夢の実現に向け、学習意欲や課題解決能力を高める。  
※ 生徒・保護者の評価アンケートにおける「学力向上の意欲」の目標値は4.0以上。(令和2年度 生徒4.1 保護者3.7)と生徒の満足度は0.3ポイント上昇し、目標値に達したが、保護者から見れば満足するような結果ではなかった。保護者の評価を令和3年度までに目標値になるよう努力する。

(2) 人権教育

- ア) 生徒一人ひとりが互いの個性を尊重し合う集団づくりを行う。その中で「心のバリアフリー」推進の動向をふまえ、障がいの有無にかかわらず、多様性を尊重する障がい者理解を推進し、人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して指導する。
- イ) いじめ等を未然に防ぐため各学年、担任による日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施するなど生徒との接点を密にする努力を行う。
- ウ) 学年毎にテーマを決め、人権教育を行う。
- エ) 12月の人権週間には人権講演を実施する。  
※ 生徒・保護者の評価アンケートにおける「学校のいじめの対応満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度 生徒3.8 保護者3.8)評価が0.2ポイント下降し目標値を下回った。令和3年度年度には目標値を達成する。

【3】 基本的な生活習慣の確立を行うとともに、安全で安心な学校づくりと生徒への支援を行う。また、学校行事や部活動を通じて主体性を持った豊かな人格形成を行う。

(1) 生活指導

- ア) 個別の問題行動の対応にとどまることなく、基本的な生活習慣と規律ある態度を養うように指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。
- イ) 挨拶運動等を実施し、日常生活での基本的なマナー及び公共施設や交通機関でのマナーの向上に努める。  
※ 生徒・保護者の評価アンケートにおける「教員の規則を知らせる指導」の目標値は4.0以上。(令和2年度 生徒4.4 保護者4.1)昨年に引き続き目標値に達した。。

(2) 危機管理と情報公開

- 生徒の安全・安心を優先して危機管理に当たり、私学の有する公の性質と学校教育に果たす役割を考慮して情報を公開する。
- ア) 教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識をもち、危機管理マニュアルを作成し安全・安心な学校をめざす。また、災害に備え備蓄品を整える。
  - イ) 情報モラル講演会などにより、スマートフォン、タブレットなどの情報機器の正しい使用法を習得させる。
  - ウ) 学校ホームページ等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。  
※ 教員自己評価アンケートにおける「学校安全対策」の目標値は4.5以上。(令和2年度 4.2)であり、昨年より0.1ポイント上昇したが、令和3年度年度まで目標値に近づこう努力する。  
※ 保護者評価アンケートにおける「学校の情報公開」の目標値は4.0以上。(令和2年度 保護者4.0)と昨年同様であり、創意工夫し令和3年度年度には4.2とする。

(3) 学校行事・部活動や探究活動

- ア) 社会性や協調性の育成のため、クラブ活動を奨励する。
- イ) 情操面を豊かに育てるため、宿泊研修、校外学習、耐寒オリエンテーリングなど多彩な行事を充実させる。
- ウ) 全クラスで取り組む探究活動、発展探究クラスでの「探究」授業を充実させる。  
※ クラブ活動や行事の目標値は4.2以上。クラブ活動(令和2年度 4.3)行事(令和2年度 4.3)と昨年同様高評価である。次年度もこれを維持する。

(4) 課題を抱えている生徒への支援

- ア) 生徒が抱えている問題に対して、支援コーディネーターを中心に生徒相談係が一人ひとりを大切にしたいきめ細かい相談・指導を行う。
- イ) 保護者、ICP(臨床心理研究所)と連携し、生徒の問題解決に支援を行う。  
※ 生徒評価アンケートでの「個人面談等の満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度3.9)昨年より0.1ポイント上昇したが、令和3年度年度には目標値に達したい。

【4】 保護者・同窓会・後援会との連携と社会貢献

- ア) 保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会とも連携し、文化祭・体育会などの生徒会活動を支援する。
- イ) 生徒会活動を通して復興支援やボランティア活動等で地域に協力する。  
※ 保護者評価アンケートにおける「PTA活動の満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度 3.6)と昨年より大幅に下降した。これは、新型ウィルスの影響により通常のPTA活動ができなかったためであり、来年度は目標値を目指したい。  
※ 生徒評価アンケートにおける「生徒会活動の満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度 4.2)であり、令和3年度もこれを維持する。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校協議会からの意見
<p>評価項目:教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う            評価方法:各項目について、5段階評価で行う                      5:大変そう思う 4:どちらかといえば思う 3:普通                      2:あまり思わない 1:全く思わない</p> <p>○全体評価            ○学習指導等            ○生徒指導等            ○学校運営            【分析】</p> <p>学校目標</p>	<p>○ 学校経営計画について</p> <p>○ 生徒・保護者による学校評価アンケート結果に対する外部評価</p> <p>○ 教員による自己評価集計結果報告に対する外部評価</p> <p>○ 結果</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価  
令和3年度

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 建学の精神・教育理念・教育方針に基づいて教育の実践を行い、私学としての独自性を発揮する	(1)私学の独自性	<p>ア. 職員研修などを通じて、建学の精神・教育理念などを理解・実践する。</p> <p>イ. 入学式・卒業式・全体集会などを通じて、建学の精神・教育理念について生徒に話し、理解を深める。</p> <p>ウ. 教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。</p>	<p>ア. 私学であるため教員による建学の精神及び教育理念の理解及び実践が 4.2 である。</p> <p>イ. 諸式を通じて校長講話の中で建学の精神や教育理念等の内容をわかりやすく説明する。(令和2年度 4.2)</p> <p>ウ. 生徒指導部の月間目標に教育方針の内容を取り入れ、生徒に啓発を行う。(令和2年度 4.2)</p>	
	(2) 生徒のニーズに対応した教育活動	<p>ア. 授業評価を検証し、改善点を見出し、生徒にとってより良い指導を行う。</p> <p>【1年生】</p> <p>イ. 発展探究クラスは、「総合的な探究学習」を取り入れ、探究活動を通じて協働し自ら発信する力を養い、将来の進路を自ら実現する。</p> <p>ウ. 発展文理クラスは、日々の確認テストや学習目標の設定を通じて、自ら応用的な内容まで学ばせ、よりハイレベルな進路実現へのニーズに対応する。</p> <p>【2・3年生】</p> <p>イ. 英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。</p> <p>ウ. 英数発展コースは、夏期講習などで応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応える。</p> <p>エ. 6年一貫コースは、総合的な学習の一貫である「自分プロジェクト」で自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。</p>	<p>ア. それぞれのコースの特徴を理解し、コースの取組に満足しているかの設問に対し、教員の評価は4.1</p> <p>イ. 常に新しい課題や取り組みを提供し、調べる・まとめる・表現する一連の探究の流れを体得させる。</p> <p>ウ. 自らの課題を常に持ち、すべきことを具体的に実行できる力をつける。</p> <p>令和3年度開講であり、それぞれのクラスの理解に努める。</p> <p>イ. (令和2年度 生徒 4.1 保護者 4.2)</p> <p>ウ. (令和2年度 生徒 4.5 保護者 4.3)</p> <p>エ. (令和2年度 生徒 4.2 保護者 4.3)</p> <p>全コース平均、令和2年度 4.2 でそれぞれのコース理解が浸透してきた。</p>	
	(3)進路指導	<p>ア. 生徒が、より良い進路選択ができるよう、進路情報を提供するため、3年時2回の進路ガイダンスを行う。</p> <p>イ. 自分の将来について主体的に考え、そのための進路を選択できる力を育む。(1年)</p> <p>ウ. 個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、3年の1学期より希望調査をとり、進路相談や進路支援を行う。</p>	<p>ア. 生徒の将来を見据え、進路情報の提供や進路ガイダンスを行う。(令和2年度 4.4)</p> <p>イ. 探究活動を通じて、自ら考え、進路選択できる力を養成する。</p> <p>ウ. 個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行なっている。令和2年度は 4.3 と昨年に引き続き、目標値をクリアした。</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 学習面において時代の変化に対応した、きめ細かい指導を行い確かな学力を育成するとともに、人権を尊重する学校づくりを行う</p>	<p>(1)教科指導</p>	<p>ア. 各教科はシラバスに沿って指導するが、グループ学習を取り入れ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組む。</p> <p>イ. ICT 機器を積極的に利用し、分かりやすい授業を目指し創意工夫をす。</p> <p>ウ. 学力の向上と定着をめざすため、早朝学習・放課後学習(自習室活動)・休暇中の講習を実施する。</p> <p>エ. 自らの課題に向けて考え、協働し、学習意欲を高めるために探究活動を実施する。(1年)</p>	<p>ア. 教員によるシラバスに沿った指導は高評価であるが、グループ学習及び AL の取り組みについてはより一層の充実を図る。目標を 4.0 以上にする。(令和2年度 4.1)</p> <p>イ. 教員による授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業の展開の目標値を 4.5 にし、(令和2年度 4.2)生徒・保護者による授業は分かりやすいか。(令和2年度 生徒 4.1 保護者 3.9)との開きがある。生徒保護者の目標値を 4.2 以上に設定する。</p> <p>ウ. 教員による生徒の学力向上・学習の遅れている生徒への支援を個々の生徒の実態に合わせて行なっているかの問いに対し(令和2年度 3.8)と 0.2 ポイント評価が下降した。また、生徒・保護者による学校の学力向上への努力の数値は(令和2年度 生徒 4.3 保護者 4.0)となっている。生徒・保護者による生徒の学力向上への意欲が低く(令和2年度 生徒 4.1 保護者 3.7) 4.0 を目標としたい。</p> <p>エ. 探究活動を通じて、生徒が「主体的・対話的で深い学び」を実現し、様々なことに興味・関心が持て、学びに意欲が得られるようになることを目標とする。</p>	
	<p>(2)人権教育</p>	<p>ア. 「心のバリアフリー」の観点から、障害者理解を深めつつ、人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行う。</p> <p>イ. いじめ等の予防、早期発見のため、各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施し、人権意識を育てる。</p> <p>ウ. 障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行う。</p> <p>エ. 12月の人権週間には中学校行事として、人権講演を実施する。</p>	<p>ア. 教員は周囲の人を尊重し、よりよい人間関係を築いていく態度を養う教育を実践しており(令和2年度 4.4) と高評価である。</p> <p>イ. 生徒・保護者による教員の「いじめ」の対応は適切か(令和2年度 生徒 3.8 保護者 3.8)と低い、目標は 4.0 以上と設定する。</p> <p>ウ. 教員は人権に係わる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践している。この項目については 4.5 以上を目指したい。(令和2年度 4.3)</p> <p>エ. 人権講演や道徳的な行事については(令和2年度 生徒 4.4 保護者 4.0) 生徒の満足度は 0.1 ポイント上昇し、現在の人権教育を継続したい。</p>	

<p>3 基本的な生活習慣の確立を行うとともに、安全で安心な学校づくりと生徒への支援を行う。また、学校行事を通じて豊かな人格形成を行う。</p>	<p>(1)生活指導</p> <p>(2)危機管理と情報公開</p> <p>(3)学校行事や部活動</p> <p>(4)課題を抱えている生徒への支援</p>	<p>ア. 個別の問題行動の対応にとどまることなく、基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。</p> <p>イ. 重点を置いた指導として、生徒指導部が中心となり、挨拶運動を実施する。</p> <p>ア. 教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざす。また、災害に備えて備蓄品を整える。</p> <p>イ. 情報モラル講演会などにより、スマートフォン・タブレットなどの情報機器の正しい使用法を習得させる。</p> <p>ウ. 学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。</p> <p>ア. 社会性や協調性の育成のため、部活動を奨励する。</p> <p>イ. 情操面を豊かに育てるため、宿泊研修、校外学習、耐寒オリエンテーリングなど多彩な行事を充実させる。</p> <p>ウ. 全クラスでさまざまな行事と探究活動を結び付けると共に、発展探究クラスでの「探究」授業を充実させる。(1年)</p> <p>ア. 生徒が抱えている問題に対して、きめ細かい相談・指導を行う。</p> <p>イ. 問題解決の部署として ICP(臨床心理研究所)の存在の明確化をするとともに、相談しやすい環境づくりに努める。</p>	<p>ア. 教員による、規則を守らせる指導・挨拶・礼儀を重んじる目標は 4.5 以上(令和2年度 4.1)と昨年と同じであった。しかし、生徒・保護者による教員が規則を守らせる指導(令和2年度 生徒 4.4 保護者 4.1)と高評価である。</p> <p>イ. (令和2年度 生徒 4.0 保護者 3.8)と評価は低い。</p> <p>生徒会を中心に積極的に挨拶運動を行い、風紀委員のおはよう会などと学校月間目標により、さらに啓発を行う。</p> <p>ア. 安心・安全な学校を目指すには、危機管理マニュアルの整備(令和2年度 4.4)、緊急時の警察、消防との連携・訓練等の学校安全対策(令和2年度 4.2)はどちらも良い評価だが 4.5 以上を目指す。</p> <p>イ. 情報モラル講演会などで情報機器の正しい使い方が身についたか(令和2年度 生徒 4.3 保護者 3.7)と保護者の生徒への信頼が低い。</p> <p>ウ. 情報公開については、ようやく満足度が 4.0 に到達した、(令和2年度 生徒 4.1 保護者 4.0) 今後 4.2 以上を目指す。</p> <p>ア. 説明会やガイダンスなどで、部活動の参加を奨励する。(令和2年度 生徒 4.3 保護者 3.9)</p> <p>イ. 多彩な行事の中で、協調性を持ちながら主体的に行動できる生徒を育てる。(令和2年度 生徒 4.3 保護者 3.6)</p> <p>ウ. 主体的に活動し、協働し、表現できる生徒を育てる。</p> <p>ア. 日頃、担任は日直面談等きめ細かい相談・支援を行なっている。(令和2年度 4.2)</p> <p>イ. 生徒の個人面談等の満足度は低い。(令和2年度 生徒 3.9) 両方とも 4.0 以上を目指したい。</p>	
<p>4 保護者・同窓会・後援会の連携と社会貢献</p>	<p>保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動に協力する。</p>	<p>ア. 保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの活動を支援する。</p> <p>イ. 生徒会活動を通して復興支援やボランティア活動等で地域に協力する。</p>	<p>ア. 保護者から見る PTA 活動は(令和2年度 保護者 3.6) 目標値まで、あと少しであり、PTA 活動を支援したい。</p> <p>イ. 生徒から見る生徒会活動は(令和2年度 生徒 4.2) と昨年に続き目標値 4.0 を超えた。</p>	